

ダイワ外国債券ファンド (年1回決算型) -ダイワスピリット (年1回) -

運用報告書(全体版) 第10期

(決算日 2023年8月10日)

(作成対象期間 2022年8月11日~2023年8月10日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券		
信託期間	2013年9月5日~2028年8月10日		
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	イ、ダイワ外国債券先進国マザーファンドの受益証券 ロ、ダイワ外国債券新興国マザーファンドの受益証券	
	ダイワ外国債券先進国マザーファンド	海外の債券	
	ダイワ外国債券新興国マザーファンド		
組入制限	ダイワ外国債券先進国マザーファンドの株式組入上限比率 ダイワ外国債券新興国マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、海外の債券に分散投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00~17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)		JPMorgan GBI-EM グローバルダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入比率	債券 先物比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%		%	%	%	百万円
6期末(2019年8月13日)	8,840	0	1.9	12,114	2.1	11,195	2.7	95.1	—	76
7期末(2020年8月11日)	8,837	0	△ 0.0	13,212	9.1	11,265	0.6	93.7	—	65
8期末(2021年8月10日)	9,747	0	10.3	13,636	3.2	12,023	6.7	95.0	—	51
9期末(2022年8月10日)	10,261	0	5.3	14,064	3.1	12,303	2.3	96.3	—	32
10期末(2023年8月10日)	10,537	0	2.7	14,498	3.1	14,436	17.3	95.3	—	31

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、同指数の原データに基づき、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

(注3) JPMorgan GBI-EMグローバルダイバーシファイド（円換算）は、JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット グローバルダイバーシファイド（米ドルベース）を円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット グローバルダイバーシファイド（米ドルベース）は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注4) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注6) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

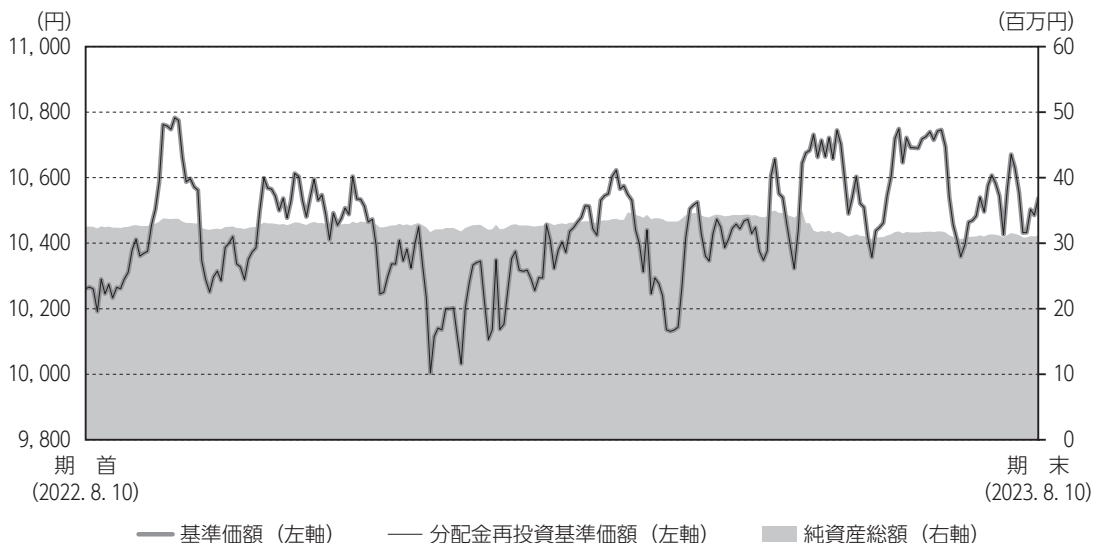
(注7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。

(注8) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：10,261円

期末：10,537円（分配金0円）

騰落率：2.7%（分配金込み）

■ 組入ファンドの当作成期中の騰落率と期末の組入比率

組入ファンド	騰落率	比率
ダイワ外国債券先進国マザーファンド	1.8%	51.2%
ダイワ外国債券新興国マザーファンド	6.5%	48.0%

■ 基準価額の主な変動要因

各マザーファンドの受益証券を通じて、先進国および新興国の債券に投資した結果、債券価格の下落と投資対象通貨の下落（円高）がマイナス要因となりましたが、債券の利息収入がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ外国債券ファンド（年1回決算型）－ダイワスピリット（年1回）－

年 月 日	基準価額		FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)		JPELガン GBI-EMグローバル ダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入比率	債券 先物比率
	円	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首)2022年8月10日	10,261	—	14,064	—	12,303	—	96.3	—
8月末	10,361	1.0	13,910	△ 1.1	12,457	1.3	96.2	—
9月末	10,315	0.5	13,717	△ 2.5	12,281	△ 0.2	96.1	—
10月末	10,613	3.4	14,117	0.4	12,596	2.4	95.2	—
11月末	10,473	2.1	13,722	△ 2.4	12,556	2.1	95.7	—
12月末	10,114	△ 1.4	13,141	△ 6.6	12,276	△ 0.2	92.8	—
2023年1月末	10,292	0.3	13,247	△ 5.8	12,613	2.5	95.7	—
2月末	10,545	2.8	13,380	△ 4.9	12,750	3.6	95.8	—
3月末	10,505	2.4	13,493	△ 4.1	12,950	5.3	95.0	—
4月末	10,376	1.1	13,662	△ 2.9	13,124	6.7	93.7	—
5月末	10,598	3.3	14,031	△ 0.2	13,545	10.1	95.0	—
6月末	10,740	4.7	14,567	3.6	14,421	17.2	96.1	—
7月末	10,565	3.0	14,214	1.1	14,446	17.4	95.4	—
(期末)2023年8月10日	10,537	2.7	14,498	3.1	14,436	17.3	95.3	—

(注) 期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。

投資環境について

(2022. 8. 11 ~ 2023. 8. 10)

■海外債券市況

・先進国

先進国債券市況は、金利上昇（債券価格は下落）となりました。

当作成期首より、米国においてインフレの加速が見られたことで、さらなる金融引き締め観測が高まり、金利は上昇基調となりました。他の国もインフレ率の上振れなどから金融政策正常化が意識され金利は上昇し、さらに英国が大規模な財政政策を発表したことで英国金利が急上昇し、グローバル全体で金利上昇が加速しました。その後は、英国の財政政策が撤回されたことにより英国金利は大きく低下（債券価格は上昇）し、他の国の金利も連れて低下しました。また2022年11月以降は、米国のCPI（消費者物価指数）が予想を下振れたことで長期のインフレ期待が低下したことや、世界的な景気減速懸念が高まったことなどから金利低下基調が強まりました。2023年に入ってから金利低下基調は続きましたが、2月以降は米国で発表された経済指標が市場予想を上振れ、底堅い米国経済が確認されたことで米国金利は上昇に転じ、他の国も連れて金利上昇に転じました。しかし2023年3月に入ると、米国の地方銀行破綻に端を発する信用不安が広がり、将来の利下げ織り込みが加速したことや投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、米国金利をはじめグローバルで金利低下基調が強まりました。その後、過度な信用不安が後退するに連れ金利低下幅を徐々に戻す展開となり、経済指標の上振れなどを背景に早期の引き締め終了期待がはく落したことから、金利は上昇基調となりました。6月には、FRB（米国連邦準備制度理事会）が政策金利の据え置きを発表したものの今後の政策金利見通しを上げたことなどから、金利上昇が継続しました。当作成期末にかけては、米国を中心に景気の先行き不透明感が後退して期待インフレ率が上昇したことを受け、長期金利を中心に上昇しました。

・新興国

新興国債券市場では、メキシコおよび南アフリカで金利上昇となり、トルコでは短期金利は低下、長期金利は上昇となりました。

メキシコでは、インフレ圧力の高まりにより利上げが実施されたことなどから、金利は上昇しました。南アフリカでは、利上げが実施されたことに加え、ロシアへの武器提供疑惑が懸念材料となり、金利は上昇しました。トルコでは、当作成期首から2023年2月まではトルコ中央銀行が利下げを進め、トルコ政府が金融機関に課した新たな規制により国債金利が低下しました。その後は5月の大統領選挙を経て、金融正常化に向けて利上げが実施され、金融機関への規制が緩和されたことによって国債金利は大きく上昇し、当作成期を通して見ると、短期金利は低下、長期

金利は上昇となりました。

■為替相場

・先進国

先進国通貨の対円為替相場は上昇（円安）しました。

当作成期首より、インフレが加速したことでさらなる金融引き締め観測が高まり、米国金利が上昇基調となると、日米金利差の拡大などから米ドルは対円で上昇しました。2022年9月には、F R B（米国連邦準備制度理事会）が大幅な金融引き締めを決定したのに対し、日銀は金融緩和政策の維持を決定したことで、急速に円安米ドル高が進行しました。その後、日本政府・日銀が円買い介入を実施したことや米国金利が低下に転じたことから、米ドルは対円で下落しました。2023年に入ってから米ドルは弱含んで推移しましたが、2月は、堅調な米国経済などを背景に米国金利が再び上昇に転じたことで、米ドルは対円で買い戻されました。資源国通貨である豪ドルやカナダ・ドルは、資源価格の下落を背景に、対円で下落しました。3月は、米国の地方銀行破綻に伴う信用不安の拡大により米国金利が大きく低下したことや、リスク回避による円買い需要の高まりなどから、米ドルは対円で下落に転じました。その後はF R Bの利上げ観測の高まりを背景に米国金利が上昇したことなどから、米ドル円は大きく上昇しました。また、世界的に利上げ観測が高まっている一方で、日本の金融政策が相対的に緩和的であることなどからその他の通貨も対円で上昇しました。豪ドルやカナダ・ドルは、資源価格の上昇などを背景に、堅調に推移しました。

・新興国

新興国通貨の対円為替相場では、メキシコ・ペソは上昇し、南アフリカ・ランドやトルコ・リラは下落しました。

日米金利差の拡大により円安が進行したことや、高金利通貨としての魅力が上昇材料となり、メキシコ・ペソは対円で上昇しました。一方、南アフリカ・ランドは、国内の電力不足や、ロシアへの武器提供疑惑が懸念材料となり、対円で下落しました。トルコ・リラは、大統領選挙後に外貨準備高のさらなる減少が懸念されたことや、為替相場への介入緩和が報道されたことを受け、対円で下落しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ外国債券先進国マザーファンド」および「ダイワ外国債券新興国マザーファンド」の受益証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

各マザーファンドの組入比率については、各国の債券市場の金利や経済のファンダメンタルズなどを参考に、それぞれ40%程度から60%程度の範囲内で変動させ、組入比率の合計は90%程度以上に維持します。

■ダイワ外国債券先進国マザーファンド

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

■ダイワ外国債券新興国マザーファンド

主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

ポートフォリオについて

(2022. 8. 11 ~ 2023. 8. 10)

■当ファンド

「ダイワ外国債券先進国マザーファンド」および「ダイワ外国債券新興国マザーファンド」の受益証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

当作成期中のマザーファンドの組入比率については、各国の債券市場の金利や経済のファンダメンタルズなどを参考に、それぞれ40%程度から60%程度の範囲内で変動させ、組入比率の合計は90%程度以上に維持しました。

■ダイワ外国債券先進国マザーファンド

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。

通貨配分につきましては、基本通貨配分（豪ドル50%、米ドル25%、カナダ・ドル25%）に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±15%程度の範囲内で変動させました。

債券ポートフォリオにつきましては、国債、州債、政府機関債、国際機関債を中心に投資しました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させました。

■ダイワ外国債券新興国マザーファンド

主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

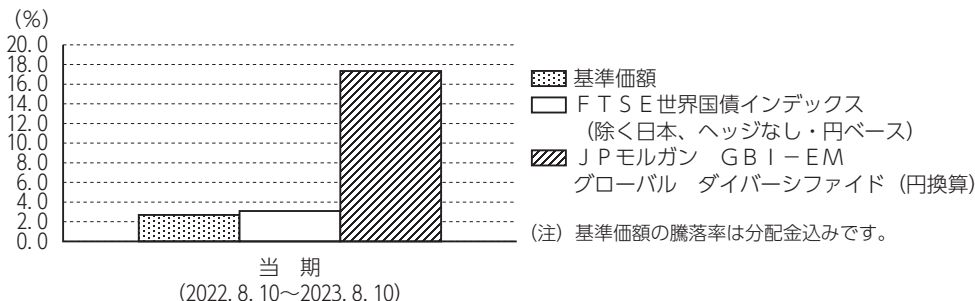
通貨配分につきましては、基本通貨配分（メキシコ・ペソ33.3%、トルコ・リラ33.3%、南アフリカ・ランド33.3%）に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±15%程度の範囲内で変動させました。

債券ポートフォリオにつきましては、自国通貨建ての国債を中心に運用を行いました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズを勘案しつつ、柔軟に変化させました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2022年8月11日 ～2023年8月10日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,233

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ外国債券先進国マザーファンド」および「ダイワ外国債券新興国マザーファンド」の受益証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

各マザーファンドの組入比率については、各国の債券市場の金利や経済のファンダメンタルズなどを参考に、それぞれ40%程度から60%程度の範囲内で変動させ、組入比率の合計は90%程度以上に維持します。

■ダイワ外国債券先進国マザーファンド

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

■ダイワ外国債券新興国マザーファンド

主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2022. 8. 11～2023. 8. 10)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	150円	1.431%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,446円です。
（投 信 会 社）	(65)	(0.618)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(80)	(0.770)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(5)	(0.044)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	3	0.029	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(2)	(0.021)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(1)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	153	1.460	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

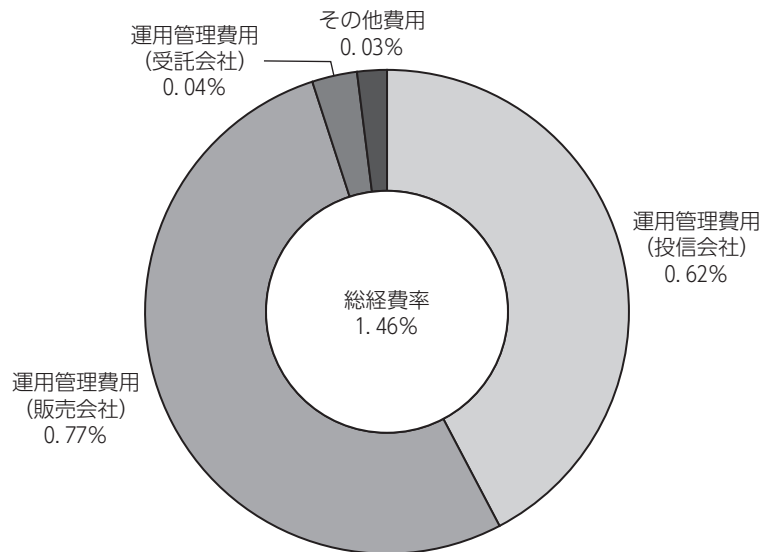
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.46%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2022年8月11日から2023年8月10日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ外国債券先進国マザーファンド	1,106	2,181	1,511	3,090
ダイワ外国債券新興国マザーファンド	633	1,003	1,829	2,852

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ外国債券先進国マザーファンド	7,961	7,556	15,974
ダイワ外国債券新興国マザーファンド	10,918	9,723	14,957

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年8月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ外国債券先進国マザーファンド	15,974	50.8
ダイワ外国債券新興国マザーファンド	14,957	47.6
コール・ローン等、その他	484	1.6
投資信託財産総額	31,415	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月10日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=143.96円、1カナダ・ドル=107.29円、1オーストラリア・ドル=94.08円、1トルコ・リラ=5.332円、1メキシコ・ペソ=8.438円、1南アフリカ・ランド=7.59円です。

(注3) ダイワ外国債券先進国マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(6,007,643千円)の投資信託財産総額(6,013,408千円)に対する比率は、99.9%です。

ダイワ外国債券新興国マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(5,844,851千円)の投資信託財産総額(5,919,064千円)に対する比率は、98.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年8月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	31,415,961円
コール・ローン等	473,079
ダイワ外国債券先進国マザーファンド(評価額)	15,974,605
ダイワ外国債券新興国マザーファンド(評価額)	14,957,032
未収入金	11,245
(B) 負債	244,827
未払解約金	11,615
未払信託報酬	231,963
その他未払費用	1,249
(C) 純資産総額(A-B)	31,171,134
元本	29,582,188
次期繰越損益金	1,588,946
(D) 受益権総口数	29,582,188口
1万口当り基準価額(C/D)	10,537円

* 期首における元本額は31,721,942円、当作成期間中における追加設定元本額は1,831,959円、同解約元本額は3,971,713円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,537円です。

■損益の状況

当期 自 2022年8月11日 至 2023年8月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 1円
支払利息	△ 1
(B) 有価証券売買損益	1,240,427
売買益	1,415,393
売買損	△ 174,966
(C) 信託報酬等	△ 470,164
(D) 当期損益金 (A + B + C)	770,262
(E) 前期繰越損益金	1,323,439
(F) 追加信託差損益金	△ 504,755
(配当等相当額)	(1,555,911)
(売買損益相当額)	(△ 2,060,666)
(G) 合計 (D + E + F)	1,588,946
次期繰越損益金 (G)	1,588,946
追加信託差損益金	△ 504,755
(配当等相当額)	(1,555,911)
(売買損益相当額)	(△ 2,060,666)
分配準備積立金	2,093,702
繰越損益金	△ 1

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	770,263
(c) 収益調整金	1,555,911
(d) 分配準備積立金	1,323,439
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	3,649,613
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	3,649,613
(h) 受益権総口数	29,582,188口

ダイワ外国債券先進国マザーファンド

運用報告書 第29期 (決算日 2023年 8月10日)

(作成対象期間 2023年 2月11日～2023年 8月10日)

ダイワ外国債券先進国マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行いません。
主要投資対象	海外の債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

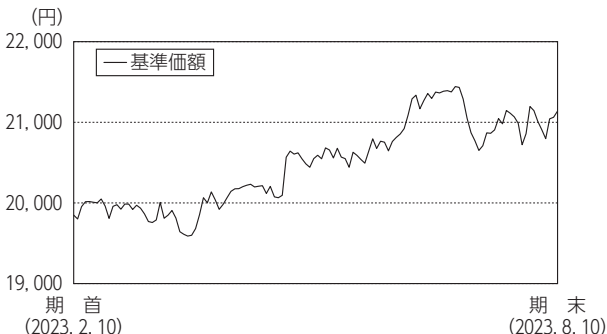
大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移

《運用経過》



年 月 日	基準価額		FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)		公社債組入比率	債券先物比率
	円	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %		
(期首) 2023年 2月10日	19,849	—	16,564	—	98.1	—
2月末	19,978	0.6	16,800	1.4	97.9	—
3月末	20,065	1.1	16,943	2.3	97.7	—
4月末	20,095	1.2	17,154	3.6	98.3	—
5月末	20,539	3.5	17,618	6.4	96.2	—
6月末	21,392	7.8	18,291	10.4	97.9	—
7月末	20,858	5.1	17,847	7.7	97.8	—
(期末) 2023年 8月10日	21,140	6.5	18,203	9.9	98.1	—

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営されている債券インデックスです。同指数は FTSE Fixed Income LLC の知的財産であり、指数に関するすべての権利は FTSE Fixed Income LLC が有しています。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は最近で知り得るデータを使用しております。
- (注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。
- (注6) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：19,849円 期末：21,140円 騰落率：6.5%

【基準価額の主な変動要因】

投資している債券の価格下落はマイナス要因となりましたが、債券の利息収入や投資対象通貨が円に対して上昇 (円安) したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○先進国債券市況

先進国債券市況は、金利上昇 (債券価格は下落) となりました。当作成期首より、経済指標が市場予想を上振れるなど、底堅い米国経済が確認されたことで米国金利は上昇基調となり、他の国も連れて金利は上昇しました。しかし2023年3月に入ると、米国の地方銀行破綻に端を発する信用不安が広がり、将来の利下げ織り込みが加速したことや投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、米国金利をはじめグローバルで金利低下基調が強まりました。その後、過度な信用不安が後退するに連れ金利低下幅を徐々に戻す展開となり、経済指標の上振れなどを背景に早期の引き締め終了期待がはく落したことから、金利は上昇基調となりました。6月には、F R B (米国連邦準備制度理事会) が政策金利の据え置きを発表したものの今後の政策金利見通しを引き上げたことなどから、金利上昇が継続しました。当作成期末にかけては、米国を中心に景気の先行き不透明感が後退して期待インフレ率が上昇したことを受け、長期金利を中心に上昇しました。

○為替相場

先進国通貨の対円為替相場は上昇しました。当作成期首より、堅調な米国経済などを背景に米国金利が上昇基調となったことで、米ドルは対円で上昇しました。しかし2023年3月に、地方銀行破綻に伴う信用不安の拡大により米国金利が大きく低下したことや、リスク回避による円買い需要の高まりなどから、米ドルは対円で下落に転じました。その後は、経済指標の上振れなどを背景に米国金利が上昇するに連れて、米ドルは対円で上昇基調を強めました。6月に入ると、F R B (米国連邦準備制度理事会) が政策金利見通しを引き上げた一方で、日銀は現状の金融緩和政策の維持を決定したことなどから、米ドルは対円での上昇幅を拡大しました。その後は、日本の政府要人等による円安下押し発言や日銀の政策運営の柔軟化決定を受けて米ドルは対円で下落する場面もありましたが、米国をはじめグローバルで金利が再度上昇基調となると、米ドルは上昇し、その他の通貨も米ドル円に連れる展開となりました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

主として先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

◆ポートフォリオについて

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。通貨配分につきましては、基本通貨配分 (豪ドル50%、米ドル25%、カナダ・ドル25%) に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±15%程度の範囲内で変動させました。

債券ポートフォリオにつきましては、国債、州債、政府機関債、国際機関債を中心に投資しました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済の

ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

主として先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デューレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	1
（保管費用）	(1)
（その他）	(0)
合 計	1

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2023年2月11日から2023年8月10日まで)

当 期		期	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄	千円	銘 柄	千円
STATE OF CALIFORNIA (アメリカ) 3.5% 2028/4/1	191,135	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1.75% 2026/12/31	635,429
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND (アメリカ) 3.375% 2033/5/15	162,126	QUEENSLAND TREASURY CORP. (オーストラリア) 3.25% 2026/7/21	276,219
TREASURY CORP VICTORIA (オーストラリア) 2.25% 2033/9/15	157,112	CANADIAN GOVERNMENT BOND (カナダ) 1% 2027/6/1	192,280
State of Connecticut (アメリカ) 5.09% 2030/10/1	136,812	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 0.875% 2030/11/15	127,756
CITY OF NEW YORK NY (アメリカ) 2.73% 2029/8/1	118,045	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND (アメリカ) 4.5% 2024/11/30	106,835
City of New York NY (アメリカ) 5.985% 2036/12/1	62,363	ONTARIO PROVINCE (カナダ) 3.5% 2024/6/2	50,882

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2023年2月11日から2023年8月10日まで)

		買 付 額	売 付 額
		千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル
外	アメリカ	1,150	6,318
		(—)	(—)
国	カナダ	3,765	—
		(—)	(—)
国	アメリカ	—	1,817
		(—)	(—)
国	カナダ	—	495
		(—)	(—)
国	オーストラリア	1,672	2,920
		(—)	(1,360)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

ダイワ外国債券先進国マザーファンド

■組入資産明細表

(1) 外国 (外貨建) 公社債 (通貨別)

区 分	額 面 金 額	当 期			末			
		評 価 額		組入比率	うちB B格 以下組入 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 12,200	千アメリカ・ドル 11,183	千円 1,609,921	% 26.8	% —	% 17.7	% 9.1	% —
カナダ	千カナダ・ドル 14,800	千カナダ・ドル 13,944	1,496,067	24.9	—	17.8	3.2	3.9
オーストラリア	千オーストラリア・ドル 33,900	千オーストラリア・ドル 29,652	2,789,687	46.4	—	17.2	29.2	—
合計	—	—	5,895,676	98.1	—	52.8	41.5	3.9

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 外国 (外貨建) 公社債 (銘柄別)

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
					千アメリカ・ドル	千円	
アメリカ	United States Treasury Note/Bond	国債証券	0.8750	1,800	1,450	208,748	2030/11/15
	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	国債証券	2.7500	2,500	2,363	340,224	2027/07/31
	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	国債証券	3.3750	1,200	1,139	164,045	2033/05/15
	State of Connecticut	地方債証券	5.0900	1,000	1,002	144,340	2030/10/01
	City of New York NY	地方債証券	5.9850	400	422	60,818	2036/12/01
	City of New York NY	地方債証券	5.9680	800	857	123,432	2036/03/01
	CITY OF NEW YORK NY	地方債証券	1.9700	2,000	1,630	234,746	2031/03/01
	CITY OF NEW YORK NY	地方債証券	2.7300	1,000	888	127,904	2029/08/01
	STATE OF CALIFORNIA	地方債証券	3.5000	1,500	1,428	205,661	2028/04/01
通貨小計	銘柄数	9銘柄		12,200	11,183	1,609,921	
	金 額						
カナダ	CANADIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	1.0000	2,000	1,798	192,971	2027/06/01
	ONTARIO PROVINCE	地方債証券	3.5000	1,200	1,185	127,145	2024/06/02
	ONTARIO PROVINCE	地方債証券	3.7500	3,100	2,989	320,745	2032/06/02
	CANADA HOUSING TRUST	特殊債券	2.9000	1,000	981	105,344	2024/06/15
	CANADA HOUSING TRUST	特殊債券	2.6500	7,500	6,989	749,860	2028/12/15
	通貨小計	銘柄数	5銘柄		14,800	13,944	1,496,067
	金 額						
オーストラリア	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	1.7500	3,400	1,963	184,719	2051/06/21
	TREASURY CORP VICTORIA	特殊債券	1.5000	4,000	3,190	300,186	2031/09/10
	TREASURY CORP VICTORIA	特殊債券	2.2500	2,100	1,683	158,370	2033/09/15
	QUEENSLAND TREASURY CORP.	特殊債券	3.2500	2,300	2,252	211,948	2026/07/21
	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	3.0000	4,500	4,328	407,213	2026/10/19
	通貨小計	銘柄数	6銘柄		17,700	16,316	1,762,826
	金 額						

当 期				末			
区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	1.1000	千オーストラリア・ドル 3,000	千オーストラリア・ドル 2,340	千円 220,147	2030/11/18
	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	3.3000	1,500	1,427	134,319	2028/08/14
	INTL. FIN. CORP.	特殊債券	1.2500	500	390	36,764	2031/02/06
	EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	3.1000	6,000	5,806	546,236	2026/08/17
	NORDIC INVESTMENT BK.	特殊債券	3.3000	1,600	1,536	144,549	2027/08/16
	INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK	特殊債券	3.1000	5,000	4,732	445,233	2028/02/22
通貨小計	銘柄数	11銘柄					
	金 額			33,900	29,652	2,789,687	
合 計	銘柄数	25銘柄					
	金 額					5,895,676	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年8月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 5,895,676	% 98.0
コール・ローン等、その他	117,731	2.0
投資信託財産総額	6,013,408	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月10日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=143.96円、1カナダ・ドル=107.29円、1オーストラリア・ドル=94.08円です。
(注3) 当期末における外貨建純資産(6,007,643千円)の投資信託財産総額(6,013,408千円)に対する比率は、99.9%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年8月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	6,013,408,040円
コール・ローン等	42,088,001
公社債(評価額)	5,895,676,573
未収利息	47,378,632
前払費用	3,555,053
差入委託証拠金	24,709,781
(B) 負債	6,089,036
未払解約金	6,089,036
(C) 純資産総額(A-B)	6,007,319,004
元本	2,841,694,240
次期繰越損益金	3,165,624,764
(D) 受益権総口数	2,841,694,240口
1万口当り基準価額(C/D)	21,140円

* 期首における元本額は3,220,643,492円、当作成期間中における追加設定元本額は492,341円、同解約元本額は379,441,593円です。
* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
ダイワ外国債券ファンド(毎月分配型) - ダイワスピリット - 2,834,137,662円
ダイワ外国債券ファンド(年1回決算型) - ダイワスピリット(年1回) - 7,556,578円
* 当期末の計算口数当りの純資産額は21,140円です。

ドイツ外国債券先進国マザーファンド

■損益の状況

当期 自 2023年 2月11日 至 2023年 8月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	92,514,608円
受取利息	92,050,682
その他収益金	468,142
支払利息	△ 4,216
(B) 有価証券売買損益	316,288,870
売買益	402,754,044
売買損	△ 86,465,174
(C) その他費用	△ 446,056
(D) 当期損益金 (A + B + C)	408,357,422
(E) 前期繰越損益金	3,171,932,936
(F) 解約差損益金	△ 415,154,736
(G) 追加信託差損益金	489,142
(H) 合計 (D + E + F + G)	3,165,624,764
次期繰越損益金 (H)	3,165,624,764

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

ダイワ外国債券新興国マザーファンド

運用報告書 第29期 (決算日 2023年 8月10日)

(作成対象期間 2023年 2月11日～2023年 8月10日)

ダイワ外国債券新興国マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。
主要投資対象	海外の債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

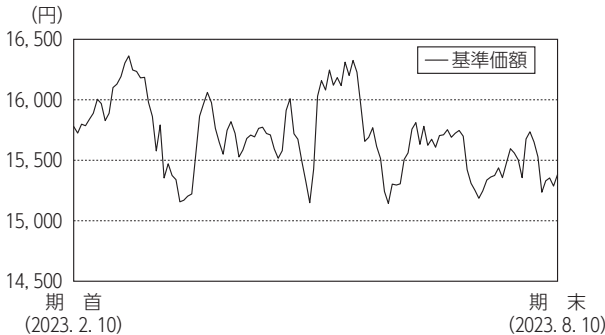
大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

ダイワ外国債券新興国マザーファンド

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		JPMorgan GBI-EM グローバルダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入比率	債券 先物比率
	円	騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首) 2023年 2月10日	15,779	—	20,570	—	92.1	—
2月末	16,129	2.2	20,833	1.3	95.2	—
3月末	15,966	1.2	21,160	2.9	93.8	—
4月末	15,579	△ 1.3	21,445	4.3	90.3	—
5月末	15,949	1.1	22,132	7.6	95.3	—
6月末	15,753	△ 0.2	23,564	14.6	95.6	—
7月末	15,676	△ 0.7	23,605	14.8	94.6	—
(期末) 2023年 8月10日	15,383	△ 2.5	23,589	14.7	93.8	—

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) J P Morgan GBI - EMグローバル ダイバーシファイド (円換算) は、J P Morgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。J P Morgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド (米ドルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。

(注6) 債券先物比率は買建比率 - 売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：15,779円 期末：15,383円 騰落率：△2.5%

【基準価額の主な変動要因】

投資している債券の利息収入はプラス要因となりましたが、債券価格の下落およびトルコ・リラが円に対して下落 (円高) したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○新興国債券市況

新興国債券市場では、金利上昇 (債券価格は下落) となりました。

メキシコでは、中央銀行の利上げ幅が市場予想を上振れた際に、大きな金利上昇となりました。その後は、発表されたインフレ率や米国金利によって金利は上下しましたが、当作成期を通じては金利上昇となりました。南アフリカでは、ロシアへの武器提供疑惑が懸念材料となり、当作成期を通じては金利上昇となりました。トルコでは、2023年5月の大統領選挙で、事前の支持率調査に反してエルドアン大統領が勝利したことで、金利は大きく上下しました。その後は、金融正常化に向けて利上げが実施されたことで、当作成期を通じては金利上昇となりました。

○為替相場

新興国通貨の対円為替相場では、メキシコ・ペソや南アフリカ・ランドは上昇 (円安) し、トルコ・リラは下落しました。

日米金利差の拡大により円安米ドル高が進行したことなどから、メキシコ・ペソ、南アフリカ・ランドは対円で上昇しました。一方、トルコ・リラは大統領選挙後に外貨準備高のさらなる減少が懸念されたことや、為替市場への介入緩和が報道されたことを受け、対円で下落しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

◆ポートフォリオについて

主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

通貨配分につきましては、基本通貨配分 (メキシコ・ペソ33.3%、トルコ・リラ33.3%、南アフリカ・ランド33.3%) に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±15%程度の範囲内で変動させました。

債券ポートフォリオにつきましては、自国通貨建ての国債を中心に運用を行いました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズを勘案しつつ、柔軟に変化させました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	2 (2)
(その他)	(0)
合 計	2

(注 1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注 2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

公 社 債

(2023年 2月11日から2023年 8月10日まで)

		買 付 額	売 付 額
外	トルコ	千トルコ・リラ 国債証券 155, 139	千トルコ・リラ 75, 780 (—)
		特殊債券	18, 274 (—)
国	メキシコ	千メキシコ・ペソ 国債証券 10, 696	千メキシコ・ペソ 81, 539 (—)
		南アフリカ	千南アフリカ・ランド 国債証券 12, 581

(注 1) 金額は受渡し代金 (経過利子分は含まれておりません)。

(注 2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注 3) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

公 社 債

(2023年 2月11日から2023年 8月10日まで)

当 期		期	
買 付	金 額	売 付	金 額
	千円		千円
TURKEY GOVERNMENT BOND (トルコ) 20.9% 2024/4/17	557, 310	TURKEY GOVERNMENT BOND (トルコ) 21.5% 2032/4/28	546, 873
TURKEY GOVERNMENT BOND (トルコ) 10.4% 2032/10/13	526, 667	Mexican Bonos (メキシコ) 7.75% 2042/11/13	227, 335
REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 8.75% 2044/1/31	93, 228	Mexican Bonos (メキシコ) 10% 2024/12/5	221, 414
Mexican Bonos (メキシコ) 8% 2023/12/7	79, 333	Mexican Bonos (メキシコ) 8% 2023/12/7	116, 505
EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT (国際機関) 13% 2024/1/19	68, 774	Mexican Bonos (メキシコ) 8% 2047/11/7	76, 248
CORP ANDINA DE FOMENTO (国際機関) 32.5% 2026/1/30	63, 101		

(注 1) 金額は受渡し代金 (経過利子分は含まれておりません)。

(注 2) 単位未満は切捨て。

ダイワ外国債券新興国マザーファンド

■組入資産明細表

(1) 外国 (外貨建) 公社債 (通貨別)

区 分	額 面 金 額	当 期			末			
		評 価 額		組入比率	うちB B格 以下組入 率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5年以上	2年以上	2年未満
トルコ	千トルコ・リラ 298,000	千トルコ・リラ 274,841	千円 1,465,511	% 24.8	% 16.0	% 8.6	% 3.9	% 12.3
メキシコ	千メキシコ・ペソ 301,000	千メキシコ・ペソ 279,292	2,356,840	39.8	—	22.8	—	17.0
南アフリカ	千南アフリカ・ランド 309,270	千南アフリカ・ランド 227,542	1,727,043	29.2	—	29.2	—	—
合計	—	—	5,549,396	93.8	16.0	60.5	3.9	29.3

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 外国 (外貨建) 公社債 (銘柄別)

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	当 期		償 還 年 月 日
					末		
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
トルコ	TURKEY GOVERNMENT BOND	国債証券	21.5000	千トルコ・リラ 39,000	千トルコ・リラ 43,576	千円 232,357	2032/04/28
	TURKEY GOVERNMENT BOND	国債証券	10.4000	76,000	51,359	273,857	2032/10/13
	TURKEY GOVERNMENT BOND	国債証券	20.9000	80,000	82,539	440,115	2024/04/17
	CORP ANDINA DE FOMENTO	特殊債券	32.5000	43,000	43,046	229,529	2026/01/30
	EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特殊債券	8.0000	50,000	45,000	239,949	2024/02/06
	EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特殊債券	13.0000	10,000	9,321	49,701	2024/01/19
通貨小計	銘柄数	6銘柄					
	金 額			298,000	274,841	1,465,511	
メキシコ	Mexican Bonos	国債証券	8.0000	千メキシコ・ペソ 95,000	千メキシコ・ペソ 84,896	716,409	2047/11/07
	Mexican Bonos	国債証券	8.0000	46,000	45,586	384,685	2023/12/07
	Mexican Bonos	国債証券	10.0000	74,000	73,681	621,771	2024/12/05
	Mexican Bonos	国債証券	7.7500	86,000	75,127	633,974	2042/11/13
通貨小計	銘柄数	4銘柄					
	金 額			301,000	279,292	2,356,840	
南アフリカ	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	6.2500	千南アフリカ・ランド 48,000	千南アフリカ・ランド 30,957	234,968	2036/03/31
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	6.5000	31,000	18,474	140,221	2041/02/28
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	7.0000	56,000	45,494	345,302	2031/02/28
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.7500	49,000	35,796	271,698	2048/02/28
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.5000	66,000	50,674	384,621	2037/01/31
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.0000	16,270	14,592	110,757	2030/01/31

区 分		当 期			末			
		銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.7500 %	千南アフリカ・ランド 43,000	千南アフリカ・ランド 31,551	千円 239,473	
通貨小計	銘柄数	7銘柄						
	金額				309,270	227,542	1,727,043	
合 計	銘柄数	17銘柄						
	金額						5,549,396	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年8月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	5,549,396 千円	93.8 %
コール・ローン等、その他	369,667	6.2
投資信託財産総額	5,919,064	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月10日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝143.96円、1トルコ・リラ＝5.332円、1メキシコ・ペソ＝8.438円、1南アフリカ・ランド＝7.59円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(5,844,851千円)の投資信託財産総額(5,919,064千円)に対する比率は、98.7%です。

■損益の状況

当期 自 2023年2月11日 至 2023年8月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	331,586,100円
受取利息	331,597,363
支払利息	△ 11,263
(B) 有価証券売買損益	△ 481,844,910
売買益	535,758,743
売買損	△ 1,017,603,653
(C) その他費用	△ 926,206
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 151,185,016
(E) 前期繰越損益金	2,389,640,754
(F) 解約差損益金	△ 167,197,117
(G) 追加信託差損益金	73,438
(H) 合計 (D + E + F + G)	2,071,332,059
次期繰越損益金 (H)	2,071,332,059

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年8月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	5,919,064,260円
コール・ローン等	230,188,339
公社債 (評価額)	5,549,396,574
未収利息	133,067,318
前払費用	6,412,029
(B) 負債	—
(C) 純資産総額 (A - B)	5,919,064,260
元本	3,847,732,201
次期繰越損益金	2,071,332,059
(D) 受益権総口数	3,847,732,201口
1万口当り基準価額 (C / D)	15,383円

* 期首における元本額は4,134,862,575円、当作成期間中における追加設定元本額は120,456円、同解約元本額は287,250,830円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ダイワ外国債券ファンド (毎月分配型) - ダイワスピリット - 3,838,009,109円

ダイワ外国債券ファンド (年1回決算型) - ダイワスピリット (年1回) - 9,723,092円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は15,383円です。